

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

【グループワーク 1】

テーマ：原子力に関心を持つためにはどうしたら良いか？ 無関心は本当にダメなのか？

「原子力への関心」とはそもそも何なのか？

キーワード：原子力アレルギー、原子力のイメージ、モチベーション

C班

(F) なんか、だいぶ時間も押していますけれども、よろしくお願いします。

テーマが3つあって、この3つを全部やるということですかね？ では、3分時間がありますので、3分間でこのテーマそれぞれについて、思うままにポストイットに書き出してみてください。よろしくお願いします。

(サブ F) 砂時計がありますので、3分を測らせていただきます。

(F) なかなか難しいテーマですね。

(記入中)

(サブ F) 思いつくままに、どんどんお願いします。

(記入中)

—— 3つ全部に対して書くのですね？

(F) そうですね。ただ、このテーマは思いつかない、ということであれば仕方がないと思いますけど。

(記入中)

(サブ F) この段階では質より量なのですよ。

(記入中)

(サブ F) 3分です。

(F) では、よろしいですか。今書いている途中のものが終わったら、進めます。

では、そちらから反時計回りでよろしいですか？ お一人ずつ、意見を説明しながら、ポストイットを貼って行ってください。お願いします。

—— 原子力が〔どうして必要なのかを考える〕。

私は学生で、原子力が専門ではないので、全然原子力のことが分からないので、〔学生向けのフォーラム〕を開いてほしいなど。

(F) フォーラムというのは、まさにこういうもののことですか？

—— 皆で話し合って、意見を述べていくものです。

(サブ F) その付箋はこのタイトルに対してですか？ タイトルをコールしたほうがいいと思います。

(F) ああ、そうですか。では、タイトルごとにやっていきますか？

(サブ F) いえいえ。何に対しての意見だということを、はっきり言ったほうがいいですね。

(F) ああ、そうですね。では、どのテーマに対しての意見かということを最初に言うてから貼ってください。

(サブ F) 今の意見は、『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか？』に対してですね？

—— はい。

次に、『無関心は本当にダメなのか？』ということで、〔必要性を感じていなければ〕、全然考える必要がないと思いました。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか？』ということで、〔常に頭の中にある〕人とか。ちょっと重なるのですが、〔興味がある〕人。

(サブ F) それで、関心があるということですか？

—— と思いました。

(F) ありがとうございます。続いて、そちらの方、お願いします。

—— 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』は、[どんな方法を使ってもアピールする]。AKBを書こうかなと思ったけど、さすがにそれはやめました。

(サブF) 書いてもいいと思いますけど。

—— あとは、[教育]ですね。

(F) 教育をするということですか?

—— 次は、『無関心は本当にダメなのか?』。[無関心でもよいのでは?]と書きました。それから、[内容が複雑すぎて理解できない]。

(サブF) だから無関心でいいということですね?

—— そうです。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』については、[知的好奇心]。[エネルギーはどこからくるのか?]。以上です。

(F) すみません、確認なのですが、『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』ということで、[教育]という単品のキーワードを出していただいたのですが、具体的に、教育をどうするとか、追加で書いていただくと助かるのですが。教育を行うということですか?

—— そうですね。[教育を行う]ですね。

(F) これは学校教育とか、そういう意味ですか? どういったところまでイメージされているか、教えていただけますか。

—— 学校教育。それはフリーのスクールでもあったり、学校教育でもあったり。

(F) そうですね。分かりました。

あと、もう一点、『無関心は本当にダメなのか?』に対して、[内容が複雑すぎて理解で

きない] というのは、すみません、ちょっとつながりがよく分からないのですが。

—— それは貼る場所が違っているのかも。これはこちらですね。

(サブ F) 理解できないから無関心になっていい、ということなのですか？

—— そうですね、言葉が足りないですね。

(サブ F) 書き足していただいてもいいですか？

(F) [内容が複雑すぎて理解できないから無関心になる]。無関心を肯定しているというところでよろしいですか？ ダメなのかという問いなので。

—— そういうことですね。

(F) 分かりました。では、次の方、お願いいたします。

—— 少し漠然としているのですが、[コミュニケーションをしっかりと取る努力] をするということです。

(F) それはどのテーマに対するご意見ですか？

—— はい、そちらです。

(F) はい。『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか？』で、コミュニケーションをしっかりと取る。

—— それから、[専門家も開いた気持ちを持って対応] していただけたらということですね。

—— いいですね。耳が痛いですね。

—— 『無関心は本当にダメなのか？』というのは、[人それぞれなので、そうであってもいいのでは] ということですよ。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか？』というのは、[お互いが相手に対して前向きになる] ことだと思います。

(F) お互いというのは、誰のことですか？

—— 専門家と、一般住民が、お互いが相手に対して前向きな気持ちになるということです。

(F) では、次の方、お願いします。

—— ええと、そもそもということで、[原子力への関心を上げればムラのイメージは上がるのか？]。そこのところをはっきりしないと、質問自体がおかしいのではないかと。

(F) テーマ自体に対する問いですかね。

—— 『無関心は本当にダメなのか？』に関しては、[「リスクのない社会はない」。このことを市民も理解すべき]ではないかと。つまり、無関心ではいけないということですよね。

もう少し書きたいことがあったのですよ。日本は狭いから、原子力のことは日本人全員に関係するわけですよ。だから、私は、知らないということは、日本に住んでいる限りは許せないと。納税の義務と同じように、国民の義務だと思いますね。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか？』に関しては、やはり[エネルギー問題を勉強しないと答えは出せない]だろうと。この問題を言わない限りは、私も専門家ですけど、答えられないと思うので、まずこのことを学んでからだろうと思います。

それで、これはどこに書いていいか分からないのですけれども。「技術」と書いたけど、「技術」を説明するといっても難しいわけですよ。専門家も(説明するのは)難しい。聞くほうも分からない。だから、「人」を説明する。「人」なら、普通の人でも理解できるわけなので。専門家を表に出して、信頼度を上げることが大事かなと。

(F) 「人」なら理解できるというのは？

—— その付箋をつなげていただければ。

(F) つまり、技術用語とかは難しいけれども、この人なら信頼できるとか、この人の言っていることは分るとか、そういう方向に持っていくということをおっしゃっているのですか？

—— そうですね。東京電力は、地元に対しては、所長、原子力の安全に責任を持っている人を実際にその村にやって、付き合う。「私が運転しているから大丈夫」というふうによ

っているわけですね。それを、所長だけに任せるのではなくて、皆がやらないといけないと思います。

(F) ありがとうございます。

最後に私ですけれども、『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』。期待なのですけれども、[日々のマスコミ情報に注視する]というくらいしか、基本的なやり方はないのかなと思います。

『無関心は本当にダメなのか?』というのは、私はどちらかというところ肯定(ダメではない)でして、[普通に生きていく分には特に問題ない]のではないかなと。原子力発電に限定しては、どちらかというところ、電気コンセントの知識のほうがよほど生きていく上では大事ではないかと。原子力を学ぶ暇があったら、100ボルトの電気を学んだほうが重要だなという気はします。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』というのは、原子力に対して意見を持っていることかなと思っています。無関心というのは、何も意見がない人。

(サブ F) こちらはどういう意味ですか? 情報に注意するだけでいいのですか?

(F) そうですね。日々の情報に何も関心を向けないと、無関心になってしまうということで、日々の情報に敏感になるということが関心を持つことではないかということです。

では、一通り皆さんご意見をいただきましたけれども、意見に対するご意見をいただければと思います。

私が一番気になったのは、『無関心は本当にダメなのか?』というのが、まさに肯定派と否定派に分かれて、否定派(ダメだ)はお一人しかいらっしゃらなかったのですけれども、このダメだというご意見に対して、皆さん、いかがでしょうか?

—— 一般住民、私たちとしては、私の周りの人間にちょっと聞いたりすると、はっきり言って、無関心の人もいるのですね。それから、関心を持っているけど、もう拒絶している人も結構多いのです。

それは、やはりそれぞれその人なので。今、そちらの方がおっしゃったように、確かに日本は狭い国で、全国民の問題であることは事実なのだけれども、人によってそれぞれ考え方があるので、それは私は否定できないかなと思います。無関心な人に対しての否定はできないかなと思います。

—— 私は、[全国民の義務]だと思います。

(F) 一方で、義務というご意見も出てきています。

—— 日本に住んでいる以上。納税の義務と同じだと私は思います。

(F) 結構強い、「ダメだ」というご意見でしたね。

そちらの方、いかがですか？ 今、強いご意見をいただいていますけれども。

—— これは個人のレベルの問題だと思うのですよね。例えば、先ほど冗談で言った AKB のメンバーの名前を答えられるかどうかというのは、知っているかどうかですよ。そういう問題になるので。結局は、原発についての無関心というのは、なんていうのかな、難しいですね。

—— おっしゃったように、無関心で許せるテーマもあるのです。AKB もそうですし。私は関心がない、賛成でも反対でもない、好きでも嫌いでもない、そういうことを主張する権利は当然あっていいと思うのです。

でも、それはテーマによると思うのですよ。この日本という国土を考えたら、原発があるという前提だから、それに対して無関心であるというのは、やはり日本に住む以上許されない。そういうテーマだと私は思いますね。

(F) なるほど。そもそも重要なものなのだから、知るべきであるということですか？

—— 誰も、放射能からは逃れることができないと。まあ、関西の人はあまり放射能に関心がないですけどね。行ったらよく分かりますよ。関東地方の人は皆放射能に敏感だけど。

—— ああ、そうかもしれない。

(F) そちらの方、ご意見いかがですか？

—— 私は、無関心というわけではないけど、新聞で原子力や原発という言葉を見たら記事を読んだりはしますが、そこまで詳しく追及したりしようとは思わないですね。専門家の人たちに任せてしまっているところがあると思うのですが。知らなくていいことではないのですが、なんか、自分の中では知らなくていいことの中に入ってしまったというか。

—— しまっていた、じゃないですか？ 今までは入ってしまっていた。

—— (笑)

自分の興味のあることのほうが関心度が高くなってしまふのは、どうしようもないことなので。

—— そうですよ。情報が多様化してしまっているんで、自分で選んでいかないと。それを全部取り込もうとするのは不可能になってきてしまいますよね。その中で、原発が自分のカテゴリーの中に入るかどうかというのは、その人がそれに関わっているかどうかとか、興味があるかどうかになってしまいますよね、結局は。

—— それがなぜかというのを考えると、やはり先ほどおっしゃったように、100 ボルトのほうがよほど危ないわけですよ。100 ボルトではたぶん死なないけど。

身のまわりには危険がたくさんあって、子供のときから親は子供に危険を感じさせない教育をしているわけですよ。だから、大人になるまで世の中に危険がないと思っている。でも、実際にはいろいろなところに危険があるわけですよ。100 ボルトだって、電車だって、エレベーターだって。そういうことを勉強しないで過ごしていくのが日本の社会。だから、そういう安全に関しては、国民全体が知らないといけない。そうでないと生きていけない。そういう社会だということですよ。

(サブ F) 安全に対してというのは？

—— 安全に対して。要するに、危険なものに対して。原子力に限らず。エレベーターとか、エスカレーターとか、電車とか、自動車とか、100 ボルトとか。そういう身のまわりの危険を知る。その一環が原子力だということです。

だから、原子力だけ教育したって、皆さんが言うように、意味がないわけですよ。世の中には山ほど危険があるわけだから、それをやはり子供のときから教えなければいけない。それが教育だと思いますね。だから、原子力の危険だけを教えるというのは、とんちんかんだと思います。

(F) おっしゃっているのは、リスク教育が大事だということですか？

—— 世の中にはリスクがあるということ、危険があるということを教育するほうがよほど大事だと思います。

いろいろな危険が山ほどある。その中で、原子力は大したことがないとその人が思うのなら、それはそれでもいいわけですよ。山ほど危険があるということのほうがよほど大事だと思いますよね。

(サブ F) 山ほどの危険と比べるということですか？

—— それを知って、ああ、じゃあ原子力は大したことないと思うなら、無関心でいても構わないと思いますけど。

—— 原子力に関わっていらっしゃる方なので、そういう思いはたくさんあると思いますけど。それから、我々も、このフォーラムに出させていただいたので、やはり関心を持って来ていると思うのですね。

でも、一般に普通に生活している人にとっては、関東地方の人や東北の人に関してはそうではないかもしれないけれども、うーん、私の姉が九州に住んでいますけど、やはり全然肌感覚が違うのですね。私たちよりも思いが弱いというか。だから無関心に、無関心という言葉はちょっと違うかもしれないですけど。

おっしゃっていることはとてもよく分かるのです。子育てしていると、危険がたくさんある世の中なので、で、その中のひとつだと。いろいろ危険はある中のひとつと言われていたけど、一般的に生活をしていると、そこまでいかないのかなという気がします。

(F) それは、身近に感じないということですか？

—— そういうことです。

(F) 東北地方とか関東地方の人は関心を持っているけど、九州は関心がないということで、やはり福島との距離感というか、そういうことですね？

—— それもあると思いますね。

—— このフォーラムで、八百屋さんに行って、福島産の野菜がありました。そうでない野菜もありました。あなたはどちらを買いますか。無記名で投票してもらったら面白いと思いますね。

おそらく東京の人は、私の家内もそうですけど、福島産の野菜があつたら買わないと思います。だから、やはり距離感というのはすごくあって。

ということは、関西とか九州の人は、もう一度原発事故が起こらないとそここのところは分からないのか、ということですよ。たぶん、人間は、分からないのですよ。実際にひどい目にあってみないと分からない。

—— そうなのですよ。やはりあの地震は、東京にいた人間もすごい状態だなというのを感じているわけで、そこから福島の問題が出てきて、やはり全然インパクトが違うと思うのですね。

人によっては、東京に住んでいる人たちでも、全然関心を持っていない人もいますので、はっきり言うと。

—— そうですね。私が話す人は、そういう人ばかりしか来ないものですから。

—— そうだと思うのです。

普通に生活している者の中には、全然私は知らない、っていう人もいますので。何とも言えないかなと思うのですが。

—— 私はたまたま専門家だから、そういうふうに分かるのかもしれませんが。関心を持っている人はすごく多いですね。先ほどの野菜の話でも。

(F) 身近に感じるかどうかという話が出てきたのですけれども、身近に感じられますか？ どうでしょう、そちらの方。

—— いや、そんなに身近に感じられないですね。

(F) やはり事故以降の情報で関心が出てきたというような？

—— そうということですね。

—— だから、もう一度関西で事故を起こさないと日本人は目が覚めないから、仕方がないですよ。

—— でも、もう一度事故が起こったら、原発はどうなるのだろう、というのは考えますよね。どこかで事故が起こったら、どうなるのだろうか。今度は、もっと派手な事故。

(F) もっと派手な事故！？

—— あれ以上の。

—— あれで十分じゃないのかな。

(F) うーん、だいぶ危ない議論になってきましたね。

—— 今回原子カムラとかそういうものが改善されなければ、もう一度事故が起きると私

は確信しています。すごく心配しています。

—— そうですね。起こってはいけませんね。

(サブ F) 先ほどのご意見、もう一度事故が起こったらどうなるのか？ というのは、心配だという意味ですか？ 原発はどうなるのかということですか？

—— そうです。原発自体がどうなっていくのか、という方向性についてです。

(F) そちらの方、いかがですか？ 身近に感じる、感じないとか、今後の事故とかの話が出ていますが。

—— 自分の中で身近なのは、本当に学生生活のことなので、単位だったり、授業の課題だったり、サークル活動だったり。この 2 週間もそうですけど、本当にいろいろなことに追われていたので、新聞を見て、ああ、載っているな、という程度の関心しか自分でもないですね。

—— では、先ほどの質問で、八百屋さんに行っても気にしませんか？

—— 私は、サークル活動の中で福島支援プロジェクトというのをやっているのです。福島の野菜を売るイベントなどに参加しているので、それはもちろん、福島県を応援するために私は買います。

—— 私は、福島のものを進んで買っています。

—— 聞いていると、本当に苦しんでいる人がいっぱいいるので。

—— やはりそういう意味では放射能に関心はあるわけですね？

—— あります。

(F) まあ、この場にいる人は、やはり皆さん関心はあるということですよ。

—— 私の中では、フォーラムに参加をして、変わってきました。参加してからは、やはり関心を持っていかなきゃいけないのではないかという方向に変わってきました。

(総合 F) ファシリテーターさん、あと 15 分になりました。よろしくお願いします。

(F) 関心そのものが、より関心が出てきたということで変わったということですか？

—— やはり、ちょっと避けていた部分があるのを、向き合っていかなければいけないのではないか、というふうに変わってきました。先ほど話があったように、日本は狭いわけですから。やはり関心を持っていかなければいけない。

(サブ F) あと 15 分です。

(F) はい。15 分ということで、ああ、グルーピングをしないといけないのか。だいぶ発散していますね。

—— だいたいグルーピングされているのではないですか。

(サブ F) 意見に対する意見がこのくらいでよければグルーピングに移るということで、その辺りは采配していただいているんですよ。

先ほどのご意見は、こんな感じでいいですか？ 関心が高くなってきて、避けていたところが無くなってきたと。

—— はい。

(F) ええと、テーマをもとに、ちょっと膨らんできたところがありますけれども、だいたい皆さん、おっしゃりたいことは言われた感じですか？

では、グルーピングということで、似たようなものをまとめたいのですが。

—— こっちに来たほうが読みやすいんじゃないですか。

(全員が読みやすい位置に移動)

—— この辺は教育の問題が書いてありますね。

(サブ F) 貼り替えたりしていただいて。そして、タイトルをつけます。

(F) はい。教育とかアピールというところがひとつありましたかね。〔学生向けのフォーラムを開く〕とか。

ええと、これも具体的な方法ですね。〔コミュニケーションをしっかりと取る事の努力〕。

—— こちらは教育のやり方だから、技法というか、手法ですよ。〔貼る位置は〕ちょっと下になるのかな。これも教育のひとつですかね。教育内容ですかね。

(サブ F) 〔自分の関心は学生生活のこと中心〕と書きましたが、どこに貼りますか？

—— ああ。

(F) それはこちら〔『無関心は本当にダメなのか？』〕ですね。学生生活のほうが中心ですよ。

—— 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか？』のところは、上のほうに教育関係の付箋を上げて、その他のちょっと合わない、別な意見は下のほうに下げておいたらいかがですか。

(F) この辺りが教育とか PR というくりでしょうか。

—— その付箋は、こっちじゃないですか？

(F) 地域差に関するご意見ですね。

—— その付箋は『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか？』というところじゃないかなと思います。

(F) 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか？』は、教育ということで、だいたいこの辺りがくりになりましたかね。

次に、『無関心は本当にダメなのか？』というところが、無関心の肯定と否定がまずあると。

(サブ F) そうですね。

—— 〔知的的好奇心〕、〔興味がある〕、一緒かな。〔エネルギーはどこからくるのか？〕。

(F) こちら(否定)が、ええと、市民がリスクを理解しておく必要がある。

(サブ F) 「問題が複雑すぎて理解できないから無関心になる」は肯定ですか？
無関心になる、肯定じゃないから、ちょっと違いますね。

—— 週刊子どもニュースでやるとか。

—— あれはすごいですよね。

—— あれはいいですよ。私はよく見えています。あれが一番分かりやすい。池上さんが初代お父さんですよ。

(F) ここにあるのは、関心に対する理由、無関心に対する理由ということですね。これも無関心の肯定ですかね。[人それぞれなので]。

(サブ F) そうですね。これはどうですか？

(F) 「個人のレベルの問題」。

(サブ F) 別に自由じゃないかということですよ。その下くらいにこういうのがあるんですよ。

(F) 「情報多いので自分で選ぶ世の中。興味がなければ無関心に」。「市民としては無関心、拒絶の人も人それぞれ」。これも「個人のレベルの問題」の辺りですね。

(サブ F) 「山ほどのリスクを知った上で原子力について無関心でいるなら OK」は、無関心の肯定でいいのですか？

—— ええ、こちらでいいです。

(サブ F) これは前提条件があるんですよ。

—— ええ。その場合はこうです、ということですから。

(サブ F) 「関心→より関心高 さけていた部分がなくなってきた」は、ちょっと逸れていますかね。まあ、全部がうまくグルーピングできなければ、それはそれでいいです。周辺に漂う意見もありますから。

(F) この意見は、まさに関心の実感ということなので、『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』の実例ということですよ。

—— ええ、ここですね。

(サブ F) ああ、そうですね。フォーラムに出て、ということですね。

—— この付箋はやはりこちらですよ。『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』。それはやはり地域で違いますよね。

これはどこだろう。

(サブ F) 全部がしっかりグループに当てはまらなくてもいいと思います。

—— 当てはまらないですね。

—— 難しいですね。

—— これはこっちですか?

—— 無関心な理由というか。

—— 無関心な理由ですよ。

(F) これもここですね。ここ(無関心の肯定)がだんだん増えてきましたね。

あれ、これはどこでしょうか。[もう一度事故がおきたらどうなるのか?][自分がひどい目にあわないと分からない] というのは?

—— 関心を持ってもらうための方法?

(F) 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』ですね。少し危ない議論だったところ。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』はだいたい分類できましたか? ええと、[あまり身近に感じられなかった]。[事故以降関心が出た]。これと[もう一度事故がおきたらどうなるのか?][自分がひどい目にあわないと分からない] は近いところもありますよね。

(サブ F) 関係性がなくもないですね。だからテーマとか、グループの枠外にしてもいいのですよ。

では、だいぶグルーピングができましたね。

(F) そうですね。

(総合 F) あと 5 分で全体共有の時間にしたいと思いますので、発表の準備を始めてください。

(サブ F) グループを作ったら、一言でタイトルをつけることになっています。

(F) ええと、ここは PR とか、教育とかですかね。

(サブ F) 『無関心は本当にダメなのか?』のグループは緑のマーカーで囲んだらいかがですか? タイトルが緑だし。

(F) ああ、そうですね。ここが無関心の肯定。ダメじゃない、にしますか。

(サブ F) 『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』も丸で囲みましょう。どこからどこまでにしますか?

—— この付箋は枠の外だけ?

(サブ F) 確認しながらのほうがいいですね。

—— ちょっと待ってくださいね。これは外。これはこの中ですよ。

(F) そうですね。

—— じゃあこれは? これはちょっと…。

(サブ F) 無理に全部を分類しなくてもいいですよ。

—— では、とりあえずこの辺を囲みますね。

(サブ F) そうしたら、タイトルと優先順位ですね。最後にそれぞれの意見やまとまりに

ついて評価したり、構造化したりして発表することになっています。

(F) ここ(『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』のグループ)のタイトルは何かいいですか? 他のところは一応書いているのですけど。

— ちょっと待ってくださいね。

— それは答えがいくつもあっていいはずですよ。

— そうですね。

(サブ F) 例えば、事故があったから関心が出た、というのはひとつあるんじゃないかと思ったのですけど。

— ああ、そうですね。

— 事故とか、これもそうじゃないですか? 放射能だから、というのもあるので。

(F) では一応、事故や放射能ということで。

— 事故・放射能とか。まあ、放射能ですね。

— そうですね。こういうのはそうですもんね。

— だから、エネルギー(に関する付箋)もこの中に入れていいんじゃないですか。

(サブ F) 優先順位はどうしますか?

(F) 優先順位ってなんでしたっけ? 何かあるんでしたっけ?

(サブ F) あ、ごめんなさい。しなくてもいいですね。

では、あとは発表ですね。構造化して、発表する。

— 構造化されたから、

(F) 発表者を決めると。

(総合 F) 皆さん、ありがとうございます。それぞれのグループで本当に真剣に話し合っていたいただきました。それでは、模造紙をボードに貼ってください。

(F) 今まで発表されたことがない方はいらっしゃいますか？

—— 私はしていません。

(F) では、発表をお願いしてよろしいですか？ 誰か発表したい方はいらっしゃいますか？ いいですか。では、こちらの方にご発表いただくということで、よろしくお願ひします。

<終了>